



発行...
編集人... 広報部



夏まつり特大号

夏まつりをリニューアル

新元号令和に改まって第一回目の夏まつりは七月二十六日(金)、二十七日(土)の二日間無事に開催されました。

昨年の夏まつりを最後に踊り子さんが高齢化を理由として解散したことから、幹事会では一年前から「来年の夏まつりをどのような形式で行うか？」を検討してきました。その中で、舞台を作った様々なパフォーマーを披露するという案が有力になりました。そこで、「元号が令和になったことを記念して新時代に合わせる」という意味も含めて新しいスタイルの夏まつりとして、会場全体のレイアウト、舞台設置、パフォーマーの依頼、費用のことなど含めて様々なことを検討してきました。

「やぐらも祭囃子も盆踊りもないなんて、伝統的な団地祭りじゃない」という意見や「いっそ、これを機に夏まつりを取り止めては？」という話もありましたが、最終的には「たとえ形式が変わっても続けられる限りパークタウン東綾瀬夏まつりを続けよう！」ということになり夏まつり全体のリニューアルに踏み切ったのです。踊り子さんチームが解散してし

まっただけでなく、高齢化や体調不良などで幹事やフロア委員さんなど運営スタッフの人数も減少して充分とはいえない状態でしたが、来年から自治会に正式加入の計画で準備を進めているハイライズ(民間企業に売却した旧3Kエリアに建てられたマンション)にお住いの有志の方も今回の夏まつりのスタッフとして手伝ってくださいました。

「やぐら」から「舞台」へ

これまで約五十年の間、団地まつりはやぐらを中心に盆踊りを行ってきました。そのやぐらをステージに変更するために、設置をしてもらう三浦工務店さんとは、四月頃から協議を重ねてきました。このような仮設物の設置と撤去の主な費用は人件費なので、舞台になったとしても同人数の職人さんが来て設置を行うなら昨年までとほぼ同等額で可能だと三浦工務店さんと話をしていました。

ところが、舞台での演目が決まってくると、子どもダンスではバク転・バク宙など激しい踊りを行うことになり、カラオケ程度の予定だった舞台を丈夫に造る必要が出てきました。三浦工務店さんとも話し合った結果、床下地に足場板を使って、表層の合板も二枚貼りにして強度を保ちました。これらの要望を伝えて、あらためて今回の設置・撤去費の見積もりを出してもらったところ、昨年の二倍以上の五十万円弱の額が算出



されました。この額は、予算的に支払う事が難しかったので、三浦工務店さんとも協議をして、多少内容も変更・調整しながら、最終的には昨年よりは少々高めの金額に落ち着きました。

設置の日は午前中のみで予定で職人さんが作業を始めましたが、屋根の部分に予想以上に時間がかかり、ほぼ丸一日の作業になりました。例年だと、慣れているので半日程度で終わるのですが、三浦工務店さんとしてもこれだけ大きな舞台は初めてのことで、戸惑いもあったようです。

夏まつり一日目・舞台

《太鼓》夏まつり初日は木村幹事の司会でスタート。先ず足立区西伊興から来てくれた夢太鼓グループによる東京音頭から始まり、祝いの太鼓の演奏へと続きました。太鼓・鐘の演奏は祭りを大いに盛り上げてくれました。



《カラオケ》カラオケは猿橋幹事の司会でスタート。カラオケ出演者募集にいち早く申し込んでくれたエレナちゃん(三歳)他がパプリカに合わせて踊りと歌を披露してくれました。続いて、はずや青果店八木下

さんが祭りの衣装で登場して北島三郎の祭りを熱唱。「これがパークタウンの祭りーだよー」と謡ってくださいました。次にカラオケサークル「だん」の栗原さん・飯野さん・常盤さん・向さんが演歌を披露。舞台にはカラオケ屋さんのような設備はなく、演奏がうまく出るか不安そうな教え子さんに猿橋先生も大忙し。最後は、お祝いに来てくださった綾瀬五・六丁目町会長足立義夫さんが十八番の「祝い酒」を熱唱。さすがに舞台慣れしており素晴らしい!



《どじょう掬い》アイス配りで二十分程休憩が入った後、山中仁さんのどじょう掬いがありました。古典的な踊りですが何度見ても面白い。最後は踊りのこつを教えてくれるコーナーまであり、子

どもたちにどじょう掬いのこつを熱心に教えてくださいました。



《盆踊り》一日目の最後はやはり盆踊り。子どもたちの大好きなパプリカが始まると舞台は子どもたちで占領され、五十人程の子どもが舞台上がりしました。午後九時頃大雨になる予報が入り、急いで後片付け。芳名版にはビニールを掛けて全員帰宅、予報通りその後大雨が降りました。

夏まつり二日目・舞台

《太鼓》二日も木村幹事が司会担当。午後七時から葛飾四つ木の太鼓サークル・星音(キラ)による太鼓と踊りが始まりま

した。保育園児から二十歳までの子ども太鼓で三十分の迫力ある演奏。ステージ前ではダンスも披露し、観客から大拍手を貰いました。



《子どもダンス》星音の後は東綾瀬地域のダンス教室ヤングリースによる子どもダンス。三歳から五歳までの子どもがダンスを始めると、「かわいいいー」の声飛びお母さん方はスマホの動画撮影に夢中。その後合計八組三十八名の木村さんごにダンスを披露。司会の木村さんは各チームの紹介に必死。音響担当スタッフは曲の頭

ぜひ自治会に加入下さい!

自治会は居住者全員の加入を目指しています。ぜひ新しくなったパークタウン東綾瀬の共益費の引き下げなどの団体交渉をより良いものにしていくためにも、自治会に入会して下さい。下記加入届に記入の上、自治会事務所までお越し下さい。

会費は、月 450 円。
集金は年 2 回。



加入届
この度、パークタウン東綾瀬自治会へ加入したく加入金450円を添えて申し込みます。
平成 年 月 日 室
号棟
世帯代表氏名 印
Tel
パークタウン東綾瀬自治会 会長殿

出しに連れてきて舞いました。
 ヤングリースはあちこちの大会で入賞した経歴もあり、ステージ前でキューを出す先生も堂に入ったものでした。メンバーの応援には青井から自転車であつたと言子もおり、ステージと客席が一体となり楽しめました。



《歌謡ショー》激しいダンスの後二十時からアイス配りで一息入れ、二十時二十分からは演歌歌手の相澤めぐみさんによる歌謡ショーが始まりました。プロの歌手だけにやはり華やか。おしゃべりも上手で子どもたちはステージ下に集まり握手を求めました。相澤さんは作詞もなさるようで、新曲「月の光」はご自身で作詞したものだそうです。

歌謡ショーの最後はステージから降り、応援してくれた自治会員一人一人と握手。CD販売も盛況に終わり、相澤さんは反省会までお付き合いくださりました。相澤さんは飯野幹事が勤務する会社との知り合いだったと言う事で、音響も悪く大したお礼も出来ない事を承知で今回のステージを快く引き受けてくださいました。



《盆踊り》祭りの最後はやはり盆踊り。皆に盆踊りを教えてあげようとしてくださった方もおり、舞台前で名残を惜しみながら何度も東京音頭を踊りました。新たな試み、舞台を作って夏まつりは天気にも恵まれ無事終了しました。

皆様のサポートに感謝!

初めての形式で手探り状態での夏まつりだったため、会場レイアウトやステージ設営の相談に応じたくれた三浦工務店さんや昨年までは全く異なる照明計画と音響設備を設営してくれた直井電機さんには大変お世話になりました。音響に関してはステージパフォーマンズをお願いした「夢太鼓」さん、「星音(キラン)」さんから貴重なアドバイスをいただきました。またフロアー委員さんをはじめ、多くの自治会員さんにお手伝いいただきました。
 このように団地の内外を問わず多くの方々に支えられていることに感謝するとともに、かつて東綾瀬団地だったところに「団地祭り」と呼んでいたこのイベントが「夏まつり」と名称を変えたこともそんな意味があるのかもしれないと感じます。

夏まつりに参加し、盛り上げてくださった皆様、本当にありがとうございました。ごさいます。



刻々と変化する天候を気にしながら仕入れ調整に苦労したビアガーデンですが売れ行きは上々。特に今年新発売のサイダーが人気でした。「席が少ないよ。」との声もありましたが、どうかご勘弁を!



ビンゴ大会
 恒例となりましたビンゴ大会。参加資格は自治会員であること。前もって配布されたビンゴカードを手に開始時刻の六時に夏まつり会場を目指して会員さんたちが集

まってくる。七人に一人は、賞品が当たるビンゴ大会です。今年の一等賞品は扇風機。二等は、今年流行の首掛け扇風機。暑い夏を乗り切ってほしいと選んだ賞品です。三等は毎年一番の人気賞品、お米五キロ。他にも洗剤、フライパン、お菓子詰合せ、危機一髪ゲームなど、多くの賞品をそろえました。

ビンゴ大会の司会の中島会長です。次々と読み上げられる数字を探してビンゴカードとにらめっこ。「リーチ」の声があがったものの、なかなか「ビンゴ」になる方があらわれません。そんな時、静かに前へやってきたのが五号棟の佐々木さん。ビンゴです。一等賞品扇風機を受取って「あらあら・・・」と帰っていかれました。おめでとございます! その後も次々とビンゴになり賞品をもらってにっこりの皆さん。小学生の男の子が三等のお米を当てて、「孝行息子!」とヤジがとびました。年に一度のお楽しみ、ビンゴ大会もあつという間にお終いです。残念ながら賞品が当たらなかった方も参加賞を受取って帰りました。「二度も当たったことないのよ。」とおっしゃる方もいらっします。来年はきつと当たりますよ!



令和元年度 夏まつりご芳名簿

- 猿橋フサ子、(株)TCS、(株)URコミュニティ城北すまいセンター、大島六丁目団地自治会、王子五丁目団地自治会、青戸第一団地自治会、城北信用金庫支店長福田健司、蒲原自治会会長峯岸茂隆、須藤京治、加平町会、出展者一同、飯塚屋酒店、居酒屋せつこ、三浦工務店三浦啓行、本田順一、(有)昇莉夢、チャーム美容室、足立綾瀬福祉園、(有)つるや商店、かばらデイサービスセンター、蒲原診療所、蒲原歯科診療所、やじろべい、シオダ美容店、辰沼鈴木、東綾瀬小学校各務友二、肉の丸正、中山歯科、西本医院、足立白うめ幼稚園、あかしあ園金井弘文、綾瀬なないろ園、綾瀬ひまわり園、東綾瀬中学校、東綾瀬保育園、あやせバール園、ル・ソラリオン
- 綾瀬、東綾瀬小学校PTA倉本公一、直井電器綾瀬店、東綾瀬自治会会長山崎重昭、東淵江自治会、北三谷食糧販売店古性正巳、亀有信用金庫京口健治、東部若葉保育園倉本公一、荻名正二、東綾瀬区民事務所丸田直美、東綾瀬自治会女性部、佐藤医院、東綾瀬自治会、あやせ保育園、東綾瀬整骨院、蒲原自治会会長直井白、東京二十三区公団住宅自治会協議会、綾瀬五・六丁目自治会、はすや青果店八木下保男、(株)足立リビング岡田浩二、綾瀬三丁目自治会会長山口光太郎、下谷中町自治会、東綾瀬中学校PTA、やたがい楽器、浅田菓子店、綾瀬福祉園保護者会、東和一丁目自治会会長神谷秀行、東和地域学習センター庄子幸一、上遠野幸子、東綾瀬住区センター山崎利夫、東和一丁目自治会女性部森田貴美子、パンダグループ、

金町第一団地自治会、江北六丁目団地自治会、いかりや美江堂、蒲原自治会女性部、蒲原中学校、蒲原中学校PTA、(株)田中不動産、福島哲子、蒲原自治会女性部、蒲原自治会峰岸礼子。
 以上順不同・敬称略。



種々雑感

令和元年は冷夏かと思いきや、七月二十九日に梅雨が明けると帳尻を合わせるように太陽が頑張り始めた。毎年これまでの夏で一番暑いと思うのは年のせいかと思っただが、記録を見ると平均気温・真夏日の日数など確実に上昇しているようだ。戦前生まれの人は終戦の年は暑かったと言う。戦争が終わり気付いたら何もなくなつて暑さだけが残ったのかもしれない。記憶に残る私の暑かった体験は、五十年前の七月二十一日・アポロ十一号が月面に人類を送りこんだ年。冷房もない部屋で皆がテレビにくぎ付けになっていた。何とかオリンピックが開催される来年だけは暑さも控えめであつて欲しい。

